

証 明 書

K6-010

No.H24-957

顧客名 株式会社 町田機工 殿

機種型式 SV100-1 (クレーン仕様)

製造番号 11659 号機

最大定格荷重 2.9 t

上記油圧ショベルは、クレーン法規により取り付けを義務付けられている各種機器を取り付け、安全性を確保した移動式クレーンである事を証明致します。

当機には、特別に設計、製作されたクレーンアタッチメントを取り付けて、移動式クレーンとして使用するために、クレーン法規で取り付けを義務付けられた下記の機器を装備しております。

記

- (1)過負荷を防止するための装置……………移動式クレーン構造規格第 27 条
(吊り上げ荷重 3 トン未満)
 - ・ 荷重計
- (2)安全弁……………移動式クレーン構造規格第 28 条
 - ・ 圧力上昇防止弁 (リリーフバルブ)
 - ・ 逆止め弁
 - ブームシリンダ 1 本 (縮方向のみ)
 - アームシリンダ 1 本 (伸方向のみ)
- (3)警報装置……………移動式クレーン構造規格第 30 条
 - ・ 警報ブザー
- (4)傾斜角指示装置……………移動式クレーン構造規格第 31 条
 - ・ ブーム角度計 (デジタル式)
- (5)外れ止め装置……………移動式クレーン構造規格第 32 条
 - ・ 外れ止めフック
- (6)表示……………移動式クレーン構造規格第 43 条
 - ・ 定格荷重銘板
 - ・ 製造銘板

以上

平成 24 年 11 月 20 日

証明者

ヤンマー建機株式会社

取締役社長 京極 勝



(社) 建設荷役車両安全技術協会 編

証明書 発行日	2 年 10 月 12 日	特自検 標章No.	101373
証明書 発行No.	10-177	定自検 標章No.	1134324

3 年 間 保 存

K6-010

区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果 良 不良	補 修 内 容	
操作	32	a 操作レバー	ロックがた	目視、操作、スケール	✓		
	b		起伏・旋回装置レバー未操作時の移動式クレーン作動停止	操作	✓		
安全装置・車体関係等	33	下部架台フレーム、ブラケット	き裂、変形、しゅう動部摩耗、取付	目視、スケール、探傷器	✓		
	34	旋回フレーム、ブラケット	き裂、変形、取付	目視	✓		
	35	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛かり、異音、ギヤき裂・摩耗、取付、シール損傷	目視、操作、聴診、トルクレンチ	✓		
	36	旋回減速機	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、操作、聴診、触診	✓		
	37	旋回ロック	効き、き裂、損傷、油漏れ、ホース損傷・老化	目視、操作	✓		
	38	レバーロック、ペダルロック	効き、損傷、変形	目視、操作	✓		
	39	キャブ、カバー	き裂、変形、腐食、雨漏り、ドア等開閉、ロック・キー作動、ガラスのガタ・破損	目視、操作	✓		
	40	カウンターウエイト	取付、ボルトのき裂・変形	目視、スケール、トルクレンチ	✓		
	41	座席（調整機構、シート、背もたれ）	座席調整、ロック作動、取付、シートベルト、損傷	目視、操作	✓		
	42	昇降設備、滑り止め	き裂、損傷、変形、取付	目視	✓		
	43	a 表示板（注意銘板）	損傷、取付	注意銘板	目視	✓	
	b	（上部旋回体、キャブ/キャノピ）		定格荷重銘板	目視	✓	
	44	燈火装置、警音器、方向指示器 窓拭き器、デフロスター等	作動、取付、レンズ破損、浸水	目視、操作	✓		
	45	計器類	作動	目視	✓		
46	後写鏡、反射鏡	汚れ、損傷、写影	目視	✓			
47	給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	目視、操作	✓	✓		
クレーン装置	48	a	エンジン回転速度（1500min ⁻¹ ）	エンジン回転計	✓		
	b	モード切替スイッチ	旋回速度（7 秒）	ストップウォッチ	✓		
	c		外部表示灯点灯	目視	✓		
	49	水準器	取付、損傷	目視	✓		
	50	a	損傷の有無	目視	✓		
	b	角度検出器（ブーム、アーム）	レバーの変形の有無、取付状態	目視	✓		
	c		配線の損傷、断線、絶縁、接続部の腐食、焼損、緩み	目視	✓		
	51	a	ブック止めねじの緩み及び脱落チェック	目視、操作	✓		
	b	フックブロック	ワイヤロープの外れ止め装置の変形及び損傷の有無並びに機能チェック	目視、操作	✓		
	c		ピン及びキープレートとのき裂、摩耗及び損傷並びにボルトの緩み及び脱落の有無	目視、操作	✓		
	d		ブックブロックの格納状態	目視、操作	✓		
	e		ブック回転部の給油脂状態チェック	目視、操作	✓		
	f		ブックブロックのき裂、損傷の有無	目視、触診、打診	✓		
	g		ブックの摩耗及び変形の有無	目視、スケール	✓		
	h		軸受け部のガタ、回転の円滑性	目視、操作	✓		
	52	a	損傷の有無	目視	✓		
	b	荷重検出器	油漏れの有無	目視	✓		
	c		配線の被覆の損傷、接続部の緩み及び腐食の有無	目視	✓		
	53	a	モード切替スイッチとの連動	目視、操作	✓		
	b	荷重計	荷重計の損傷の有無及び表示板の視認性	目視、操作	✓		
	c		荷重計の作業半径表示の異常の有無	目視、操作	✓		
	d		配線の被覆の損傷、接続部の緩み及び腐食の有無	目視	✓		
	54	a	荷重計精度	警報	操作、聴診	✓	
	b	表示値		目視、操作	✓		
c	荷重試験	ブーム及びアームの起伏能力の有無、異音	操作、聴診	✓			
d		ブーム及びアームの起伏ブレーキ能力の有無	目視、操作	✓			
e		上部旋回体の旋回能力の有無、異音	操作、聴診	✓			
f		上部旋回体の旋回ブレーキ能力の有無	目視、操作	✓			
総合	55	総合テスト	作動、異音、異常振動、異常発熱	操作、聴診、触診	✓		
排ガス装置	★ ★	一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンチ等	✓		

要 請 次回定期自主検査・特定自主検査は 3 年 10 月です。

照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補修実施内容
1	エンジンオイル	2.10.14	清掃
4	バルブ	4	調整
47	クレーン	4	注油

備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容の項目に★印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は★印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. ★及び★★印は、安衛法上及び建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づき決められている検査項目であるが、そのうち★★印は同指針にのみ基づく検査項目である。					
	記号	交換	修理	調整	締付	清掃
		X	△	A	T	C
						L
						—